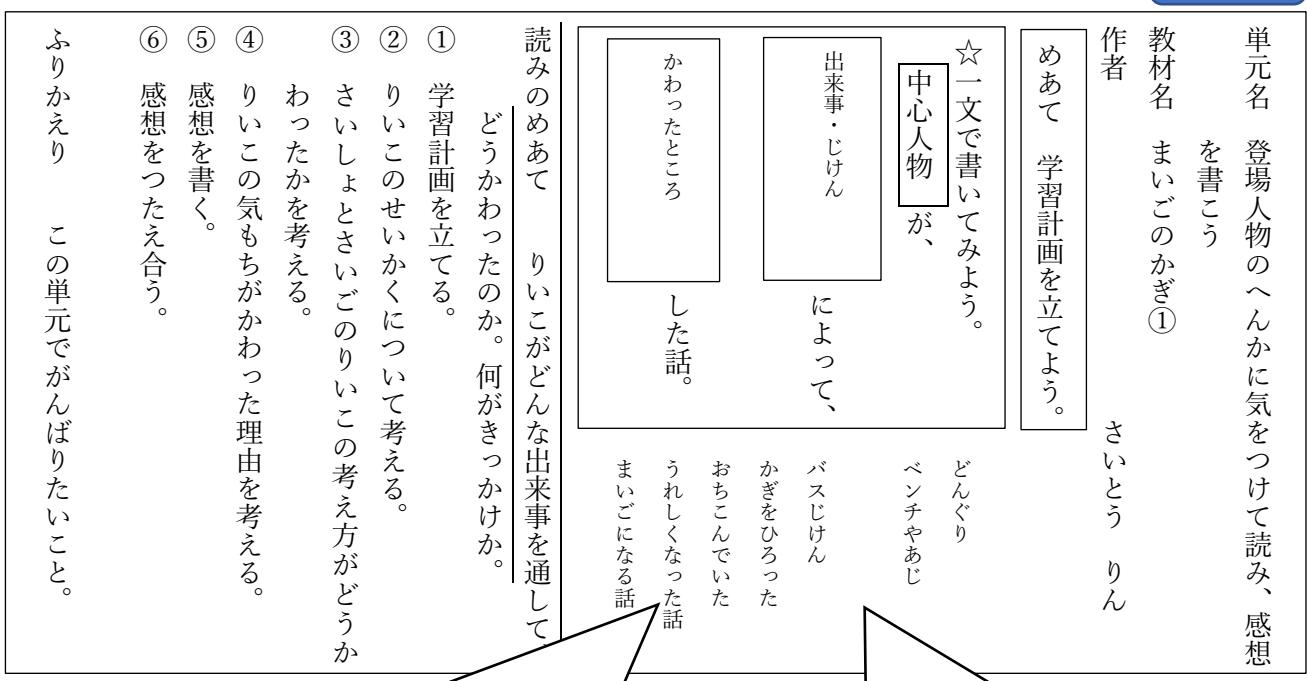


第1時

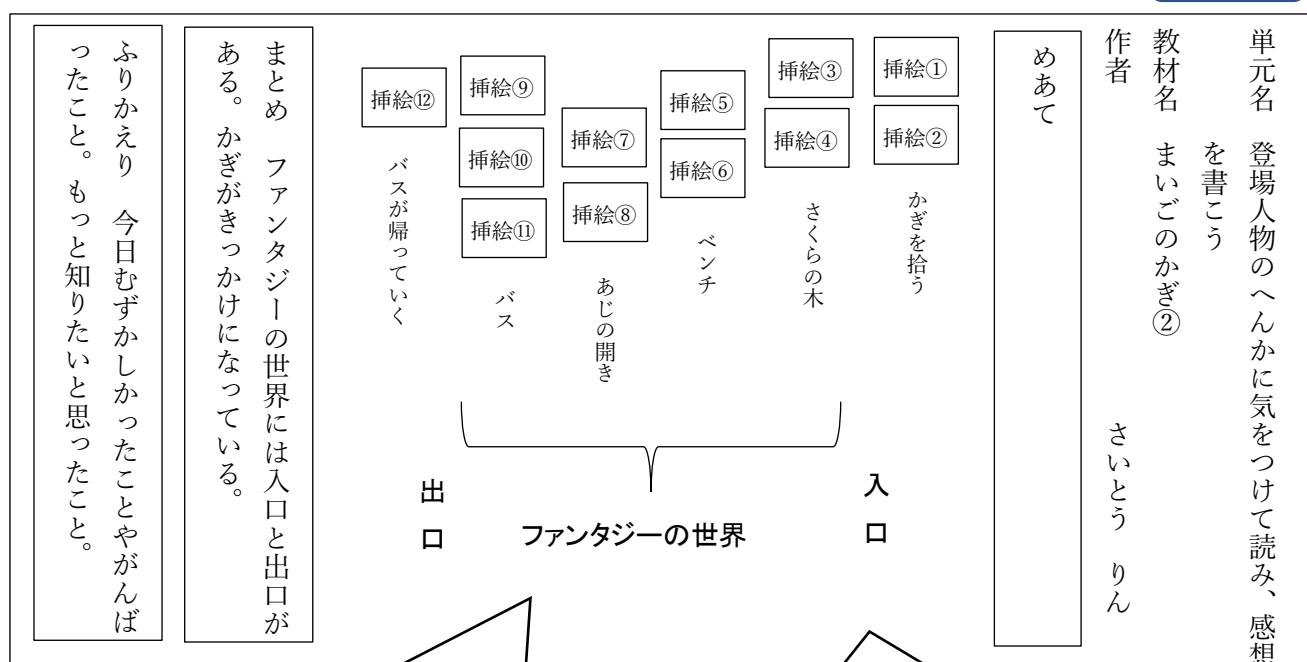
板書計画



わからない・難しいと感じたところを解決していくという「読みのめあて」を確認する。
※教材で身に付けさせたい論理の確認

全体で話し合い、児童から出た言葉を板書し、思考のズレを明らかにする。

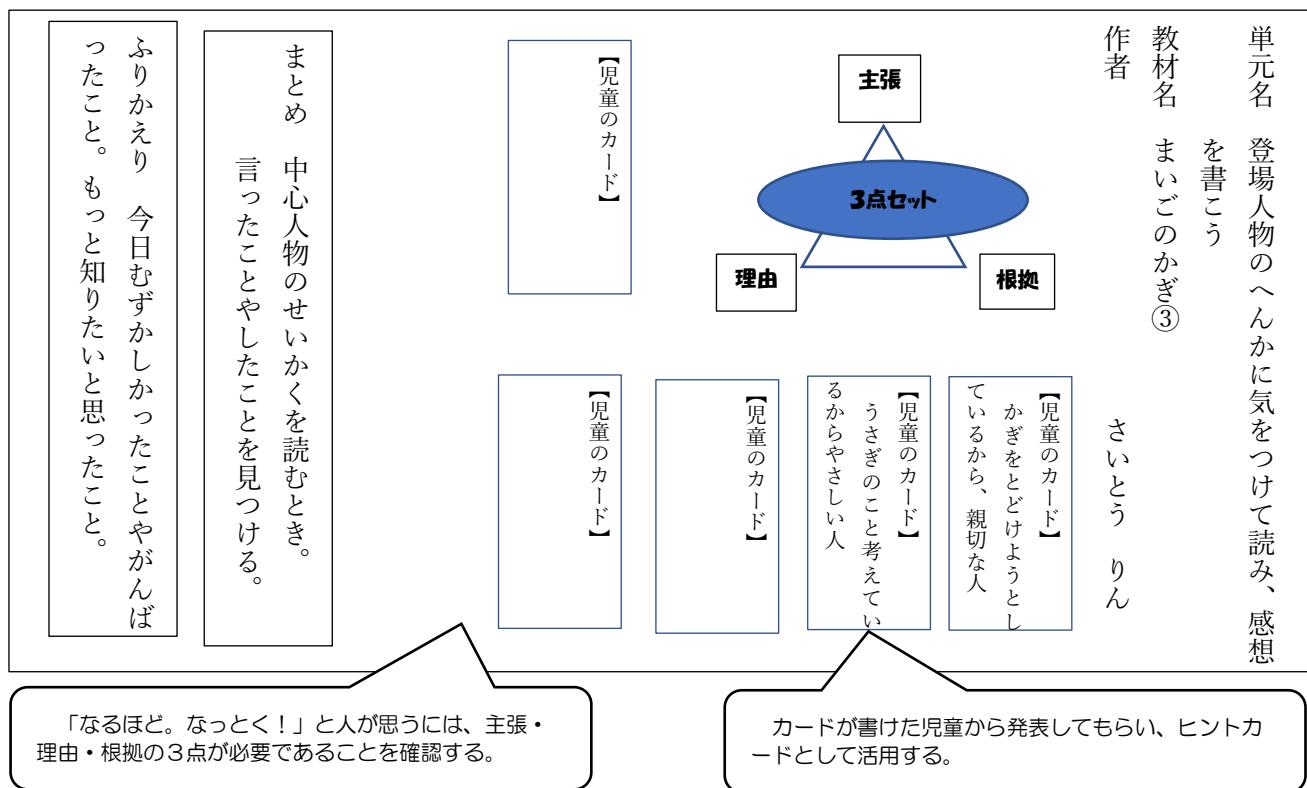
第2時



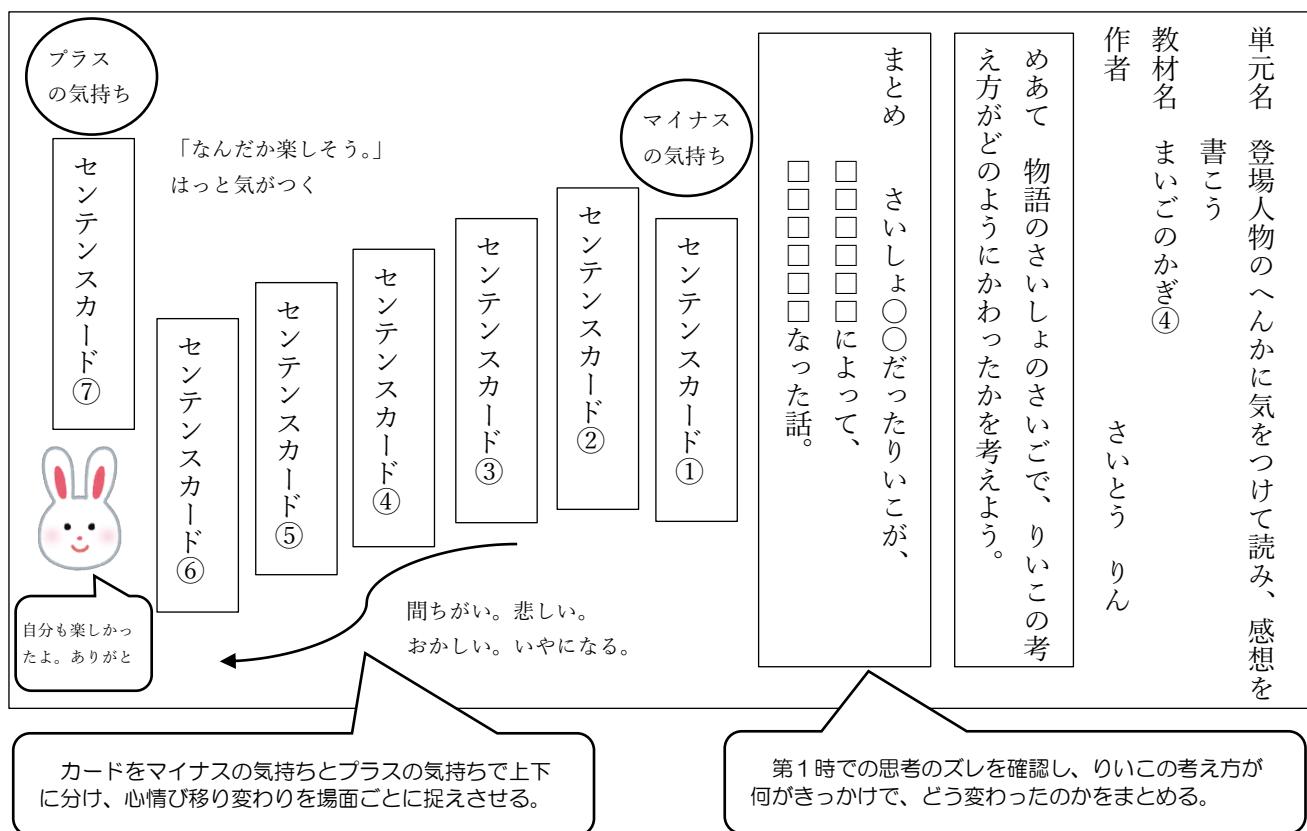
かぎをきっかけに不思議の世界に入りこみ、かぎが消えたことで現実正解にもどっていることを可視化する。

各場面事に見出しをつけ、物語を大づかみに把握する。

第3時



第4時



第5時

<p>单元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想 を書こう</p> <p>教材名 まいごのかぎ⑤</p> <p>作者 さいとう りん</p>	<p>めあて 物語のさいしょのさいごでりいこの気 もちがかわった理由を考えよう。</p>
--	--

信

おわり

うれしくなって
大きく手をふりかえす

はっと気づいたのです
うさぎが手をふっている

つてもいい。

わたくしもやつてみ
みんなも
いちどは、
たまには、
やつてみたかった
のかもしれない。

セントンスカード⑦

セントンスカード⑥

セントンスカード⑤

セントンスカード④

セントンスカード③

セントンスカード②

セントンスカード①

はじめ

うつむきがち
しょんぼり歩きながら

よけいなことしちやつたな

りいこの変化について、端的なことばでまとめる。
物出来事で中心人物がどう変わるとかを確かめる。

前時の学習から、考え方の変化と気持ちの変化が対応していることを押さえる。

第6時

<p>单元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想 を書こう</p> <p>教材名 まいごのかぎ⑥</p> <p>作者 さいとう りん</p>	<p>めあて 「おもしろいな。」「すきだな。」と思つ たところを中心に、感想を書こう。</p>
--	---

書きだし

まとめ
りいこの気もちがかわった理由は、
○○だと思う。

まとめ
かんそうを書くときは、どこからそ
う思つたのか理由をはつきりさせる。

・自分とりいこをくら
べると
・もし、りいこに会えた
ら

・りいこに○○とい
つてあげたい。
・きっとりいこはこ
のことをく。

カード

カード

カード

カード

考えられる書きだしと結びを、児童の発言をもとに共有し、どの児童もスムーズに書けるようにする。

児童の考えを耕すため、挿絵を掲示し、自分が気に入つたところについてカードを張らせる。

第7時

単元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想

を書こう

教材名 まいごのかぎ⑦

作者 さいとうりん

めあて 感想を読み合って、自分とおなじところやちがうところをつたえ合おう。

☆友だちと同じところやちがつたところ

☆友だちとちがうところがあつたのはなぜか。

☆交流を通して、自分の考えはどうなつたか。

感じ方にちがいがある。どれもがせいかい。

単元のまとめ 物語を読むときには、出来事で登場人物がどうかわるのかをたしかめながら読むことが大切。

ふりかえり この単元でみにつけた力は、

叙述に基づいていれば、どの考え方や感じ方もよいと互いを認め合えるようにする。

対話する前に、言葉による見方考え方が働くよう、どの言葉に着目し、なぜそう考えたのかなど視点を明確にする。